

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 清瀬市立清明小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 204-0002
東京都清瀬市旭が丘 2-8-1

E-mail : seimei@kiyose.ed.jp

Website : 清瀬市公式ホームページよりログイン

児童生徒数：男子 202 名 女子 206 名 合計 408 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

地域協働プログラム（第3・4学年）を展開

○ 地域協働プログラムとは…本校の ESD の中核をなす活動。「今あるものを、よりよく未来へつなげる」ために、学校と地域とが協働して実施する、本校のフラッグシップ的活動である。

① 清明ソーラン体験教室（第3学年）

第3学年の児童が体育科において学習する。清明小学校発の文化を保護者を中心とした地域の指導者、地元自治会、本校教職員及び保護者の会が協力体制を組み地域の文化として守り育ててきた。平成25年度から地域協働プログラムを実施するにあたり、新たに「清明ソーラン みどりの風」という活動団体が組織され、持続的発展に向けた体制も整備された。今年度は、全6時間のプログラムを実施し、学習成果を保護者・地域に発表した。

② 下宿囃子体験教室（第4学年）

第4学年の児童が総合的な学習の時間において学習する。地元の伝統芸能である「下宿囃子」を見るだけでなく、全員が体験することにより、自らが伝統を受け継ぐ者としての意識を高めることを目的としている。全6時間のプログラムを実施し、学習成果を土曜授業公開日において、清瀬市長、教育委員、教育長のご臨席を賜る中で、地域・保護者に向けて発表した。

③ ビオトープ学習（第4学年）

第4学年の児童が地域にある「下宿ビオトープ公園」での観察学習を行う。1年間通じて定期的に観察を行うため、生物の多様性、生命の連続性など多くの気づきがある。また、観察学習には、毎回「ビオトープを育む会」の方がゲストティーチャーとして参加していただいている。地域の方のお話から、この地域の変遷、保全活動の大切さについても学ぶことができた。全12時間のプログラムを実施し、学習成果をポスターセッションにより地域・保護者に向けて発表した。

※上記の活動のうち、清明ソーラン体験教室については、4年生以降クラブチームに所属し、ソーランを続けていくことができる。今年度は、ソーランの卒業生である清瀬第三中学校の生徒と本校児童が清瀬市民まつりで同じステージに立ち、パフォーマンスを披露した。

また、下宿囃子体験教室については、5年生以降下宿囃子保存会に所属し、お囃子を続けていくことができる。

いずれの活動も、学校の学習活動で終わるのではなく、地域組織と連携して、希望者にはその後の活躍の場が用意されていることも本活動の大きな特徴である。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）